

クライミングによるまちおこし事業

—No.55 小鹿野町—

【事業の目的】

山岳観光資源の豊富な町の特性を活かし、登山・岩登りそして室内ボルダリングを総合的にPRし、交流人口の増加を図り、町の活性化に寄与することを目的としています。

【事業の内容】

国内に約60万人とも言われている近年人気が出てきているボルダリングを室内で天候・季節に関係なく体験できる施設を中心に、そこから野外フィールドへの導線、逆に野外フィールドから天候や季節によっては屋内フィールドへという流れを定着させ、年間を通じた交流人口の来町を図ります。

【事業年度】

令和2年度～

【予算額(千円)】

令和2年度 14,020千円

【財源】

一般財源(町)、施設利用料

【事業実施に至った背景・経緯】

以前からロッククライミングで有名な二子山や日本百名山の両神山などがあり、世界的プロクライマー平山さんが頻りに訪れていたことから、クライミングの地盤はかなりありました。そこに、オリンピックでのスポーツクライミング競技の正式採用や県有施設の無償譲渡などが重なり、有効活用を図るために既存施設を改修し、平山さんの全面協力により、ボルダリング施設への転換を図りました。

【事業のPRポイント】

公営での室内ボルダリング施設は県内でも珍しく、野外フィールドとのマッチングで屋内屋外を一度に楽しめ、キッズスペースも併設させていることから、家族連れでも楽しめる施設となっています。また、目の前に国民宿舎もあり宿泊で楽しめることもポイントが高くなっています。

【事業実績・成果・今後の展開】

周辺地域では、まだまだボルダリングに対する認知度が低い状況ではありますが、オリンピックを契機として盛り上がりを見せれば、利用者は格段に増加すると思われるので、そのお客さんをつなぎ止める策を考えていくことが重要と考えます。

〔 連絡先 〕

山岳クライミング推進室

0494(26)7805